

## 第5回最上川水系流域委員会 庄内地区小委員会の議事概要

### 1. 開催日時

平成13年12月17日(月) 13:30~15:30

### 2. 場 所

ホテルサンルート酒田(玉姫殿4Fラボーナ)  
酒田市北新橋一丁目19-7

### 3. 出席者(31名)

委 員：池田勝良委員、角田分委員、加藤聡委員、加藤信英委員、設楽京子委員、  
鈴木春男委員、前川勝朗委員、水戸部浩子委員、吉泉欣一委員

国土交通省：神田酒田工事事務所長、菅原(河川)副所長、三原工務第一課長、  
石山調査第一課長、佐藤河川管理課長、武田酒田出張所長、  
斉藤飽海出張所長、山川建設監督官、古関堰管理専門官、  
石渡工務係長、高橋調査係長、佐藤洪水予報係長、武藤河川管理係長  
白幡事務官、佐藤技官、土門技官

山形県：庄内総合支庁 永井建設部長、土田河川砂防課長、高橋技術補佐、  
宮林技術主査、八鍬技師  
土木部河川課 本橋技師

一般傍聴者：0名

### 4. 内 容

- (1) 最上川水系河川整備計画原案について(大臣管理区間)
  - 1) 最上川水系河川整備計画原案(大臣管理区間)の概要
  - 2) 各委員からの意見等に基づく整備計画原案への盛り込み方
  - 3) 事前聴取意見及び回答
  - 4) 質疑
- (2) 庄内圏域河川整備計画原案について(知事管理区間)
  - 1) 庄内圏域河川整備計画原案(知事管理区間)の概要
  - 2) 各委員からの意見等に基づく整備計画原案への盛り込み方
  - 3) 事前聴取意見及び回答
  - 4) 質疑
- (3) 今後の進め方

## 5. 記者発表等

平成13年12月7日(水)

- ・酒田記者クラブ(11社)に小委員会開催及び傍聴希望について投げ込み
- ・酒田工事事務所ホームページより傍聴希望者を募集

平成13年12月11日(火)

- ・行政連絡会(庄内地区)を通して、水系内市町村へ小委員会開催及び傍聴希望について事務連絡

平成13年12月17日(月) 委員会取材(2社)

山形新聞社、庄内日報社

## 6. 審議結果

(1) 最上川水系河川整備計画原案について(大臣管理区間)

### 各委員からの意見等

水辺プラザに関しては、市町村要望事業として平成9年に認定を受けて工事の進捗を図っていることには理解できるが、昨年の現地調査(第2回庄内地区小委員会)で舟に乗った時に、それらの説明がなかったため、意見を出した次第である。

庄内らしさを出していけるような、水辺プラザの整備であるべき。

1市4町が取り組んでいる桜回廊事業に関しては、桜の木にこだわらず、四季折々の変化が感じられるような樹木、花などを取り入れた、各市町村の特徴があっても良いのではないかと。

クリーンエネルギーということで風力発電が評判になっているが、今後、最上川水系の計画の中で、どのような形で表現、検討されていくのか。

クリーンエネルギーという風力発電に関しては、河川というよりは、むしろ全体的な問題として庄内が中心となって議論をしていかなければと思われる。

風力発電を計画の中での表現が、「推進すべき」、「抑制すべき」、「適切に利用すべし」という選択枝についても、個別の意見等があり、時代の議論、動向を踏まえていかなければと思われる。

庄内地域にパイプライン(用排水路の整備)が出来たことによって、北方系の淡水魚等の生態系が保全されている場合もあり、人間との共生の可能性を研究し、各分野からの意見の蓄積が大切ではないかと。

最上川の全体像が分かるようなパンフレット、リーフレット等の作成を上流、中流、下流域での連携を図りながら実施して欲しい。

川、水、生物に関しては、組織的な観点からではなく、上流、中流、下流の連携の枠組みをしっかりとしていかなければならないものであり、具体的な取り組みが最も重要な課題と認識している。

小学校4年生を対象にした副読本「“わたしたちの最上川”パンフレット」の配布以来、理科の時間に取り上げてもらっていることから、最上川の生物にかかる理解がでてきているのではと思われる。

## (2) 庄内圏域河川整備計画原案について(知事管理区間)

各委員からの意見等

水草に関する内容を記載願う。

(ご指摘の意見については、原案に反映することとしたい。)